

# ひろば

Vol.142

HIROBA

発行日：2021.6.1 発行人：田沼 武能

〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 TEL & FAX 03-5371-2732 (事務局)  
<http://www.kougei-dousoukai.jp> [dousoukai@kougei-dousoukai.jp](mailto:dousoukai@kougei-dousoukai.jp) (受信専用)



卒業制作展

卒業のことば

フォックス・タルボット賞

ひろばのページ

学位授与式

## 卒展委員長の言葉

「東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展2021」は2021年2月19日から21日まで三日間中野キャンパスで行われました。大学創立97年目の今年は7学科(写真、映像、デザイン、インタラクティブメディア、アニメーション、ゲーム、マンガ)と大学院芸術学研究科が揃って、展示・上映を無事に終えることができました。新型コロナウイルスの問題で制限された開催ではありましたが、学生の皆さんを始め教職員、同窓会の皆様のおかげで無事に終えることができましたことをご報告するとともにご協力いただきました皆様にはお礼申し上げます。

展覧会は学生の保証人様を中心にした招待制の開催となりましたが、落ち着いた雰囲気の中かで進められました。各会場では新型コロナウイルスの対策に万全を尽くし、ご来場された皆様には安全な環境の中で個々の作品をご覧いただくことができました。一昨年のようにオープニングのセレモニーや社会で活躍されている卒業生による

講演会、同窓のつどいなど様々なイベントは新型コロナウイルスの対策のため行うことはできませんでしたが、会場全体の様子は昨年同様バリエーション豊かで華やかさに満ちておりました。また新設されました6号館ではマンガ学科、インタラクティブメディア学科の作品展示を行うことができました。

今年度は引き続き、学生生活の集大成である卒業研究の成果が各会場ですらにパワーアップした形で展示できるよう、昨年度の経験を活かしながら努力して参ります。同窓会の皆様にはご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



卒業制作展委員会委員長  
教授 李 容旭(映像学科)



# 新型コロナの対策に万全を尽くして開催





## 卒業のことは

大学で過ごした四年間は、あっという間でした。進学するかを悩んでいた高校生活は、つい最近のように感じられます。私は高校で写真の魅力に気づいて写真学科に進学しました。この選択でほんとうに良かったと思います。

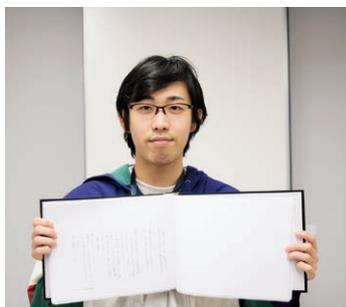
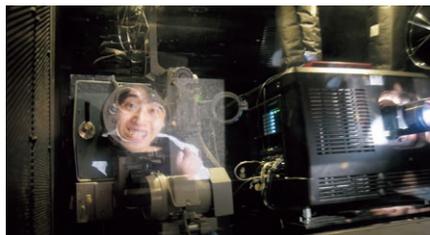
進学することで両親に負担をかけたくないという想いから、自分で学費を工面するため新聞奨学生として働きながら通学しました。おかげで自立心が一層強くなりました。雨や雪の日でも配達した経験の全てが自分を成長させてくれました。出会った仲間や先生方からは、多くの刺激を受け、狭かった私の世界を広げてもらいました。作品を仕上げるまでの過程や展示方法、世界で活躍して

### 写真学科 杉原 賢紀

いる作家など、まだまだ知らないことが多いことを痛感しました。

そして同時に、新たな学びを得られる喜びが沢山ありました。写真や芸術に触れたこの四年間は、私に新たな価値観を与え、人生をより豊かにしてくれたと思います。そして写真学科で学んだことや経験は、今後もスキルという武器になり、時に助けてくれる時もあると思います。今後も写真を筆頭にスキルを伸ばしていきたいと思います。





## 卒業のことば

卒業となった今だからこそ言える事かもしれませんが、正直、この大学では何も期待していませんでした。

第一志望校に落ちて、第二志望として何となく選んだ大学。興味のない映像の世界。元々、コンサート業界を目指していたので、入学してからの1年間とはとにかく通うのが辛かったのを覚えています。しかし、他に選択肢もなかったので目の前にあるものに立ち向かうしかありませんでした。でも、そうしていくうちに、同じ目標を目指す仲間が出来ました。興味ないものが好きになっていました。夢を一緒になって応援してくれる大人がいました。そして2年が過ぎようとした時、映像の世界を志す自分がいました。

### 映像学科 渡邊 留楓

それからは毎日が楽しい日々でした。毎日やる事に溢れ、時間も忘れて没頭する日々。とにかく忙しかったですが、決して辛いと思っただ事は一度もありません。

入学した時の自分に返っても、まさかこんな最後を迎えるとは思っていませんでした。授業とアルバイトに明け暮れ、一度も遊ばずに4年間が終わってしまいました。充実した4年間でした。ですが、やり残した事がたくさんあります。自分を変えてくれた大学に、これからは何か返していけたらと思います。



# 卒業制作展

## デザイン学科 グラフィックデザイン領域



卒業制作展  
デザイン学科  
イラストレーション領域



## 卒業制作展

# デザイン学科 映像情報デザイン領域



## 卒業のことば

デザイン学科 映像情報デザイン領域 高松 千愛里

私は他人の意見に流されやすい性格です。だから周りに合わせてその場を過ごす自分が好きではなく、何事も上手くいったことがありませんでした。

情報デザインを学ぶきっかけになったのは、この性格を変えられるかもしれないと思ったからです。というのも、ある時予備校で描いた作品を先生に見せたら「強い思い入れを感じない」と講評して頂きました。これまで「描き足りない」としか言われてこなかったのが、衝撃を受けたと同時に「強い思い入れが無い自分が嫌だ」と感じたことにあります。

ゼミで学んだ2年間はこれまで向き合えなかった自分と対峙をする良い機会となりました。また、今までの過

ごし方では自分も周りも得をしなないと知り、どうしたものかと葛藤が続くことも多かったです。仲間が「あれをしたい、これがしたい」と言っているのに、自分はその気持ちが無いことに違和感がありました。これが自分に「強い思い入れ」がない理由ではないかと気づけたことが良い成果だと思っています。

今はほんの少しだけこうであってほしいと作品に表せるようになりました。これからもこの気持ちを強く持てるようにしていきたいと思っています。



卒業制作展  
デザイン学科  
空間プロダクトデザイン領域



卒業のことば

デザイン学科 空間プロダクトデザイン領域 星 早綾

プロダクトデザインってなに？デザインって何をするの？とよく聞かれました。しかし私は、うまく言葉にすることができませんでした。なぜなら、もの一つ一つに対して考えることが山ほどある、とても幅が広く奥深いものであったからです。

ものを作ることが好きで、どんなものも全てだれかがデザインしたものであると知り学んでみたくなって進んだ道。素敵なものを作るための方程式がどこかにあるのだろうと思い学んできました。しかし実際そんなに簡単なものではなく、ひとつの解だけではない、考えた分個性の分答えのある世界でした。

幅の広いデザインの学びが、新しくできることが増えていく授業が何より新鮮で楽しかった毎日。初めての一

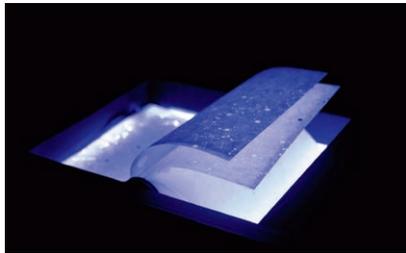
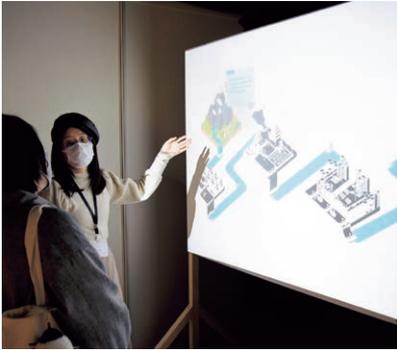
人暮らしに、友人と笑いあい過ごしたキャンパスライフ。視野の狭かった私に、たくさんの楽しみ方を知るきっかけを与えてくれました。制作のことを考えていることが多く大変だった面もありますが、この日々は一生生きる宝物になると感じています。

自分が納得して作り上げたものが、誰かの未来を変えられる日が来ることを夢見て、歩んでいきたいと思えます。

楽しき貴重な時を与えてくださった皆様、本当にありがとうございました。



# 卒業制作展 インタラクティブ メディア学科



## 卒業のことば

### インタラクティブメディア学科 杉 勇馬

私は中学、高校の時に趣味で映像制作をするようになりました。その経験の中で興味を持ったのが東京工芸大学でした。好きなものを作ればそれでいいと思っていたし、東京工芸大学ではやりたいこと、好きなことを学べるかなと思って入学しました。

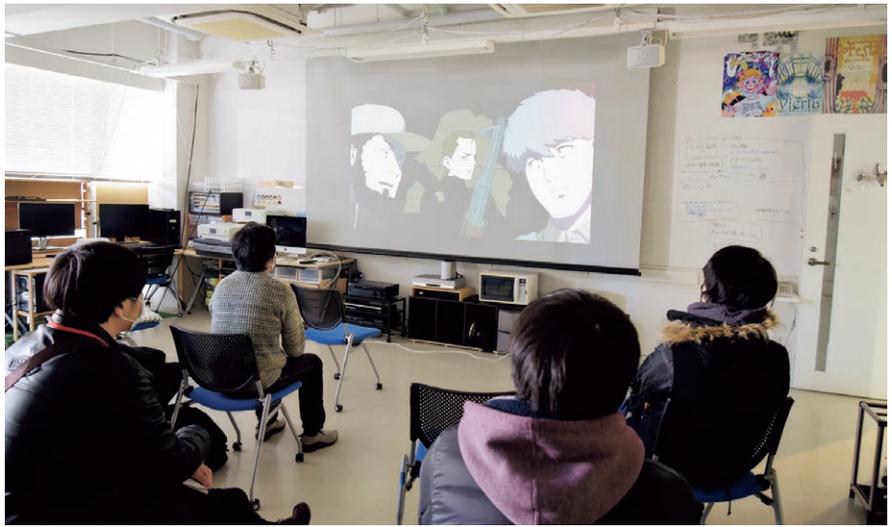
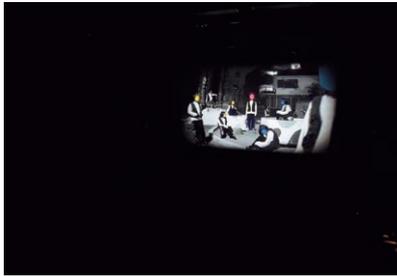
1、2年では映像、3DCG、プログラミング、電子工作、WEB、サウンドなど幅広い分野を学びました。プログラミングは中学生の時に授業を真面目に聞いていなくて勝手に面白くないと思い込んでいましたが、大学に入ってからプログラミングをちゃんと学んでみて面白かったです。1、2年でプログラミングが楽しいということがわかり、3年でそれが専攻できるゼミに入りま

した。3、4年ではプログラミングを主軸とした作品制作をメインに行い、卒業制作では「ぼわぼわ島」という綿毛を吹いて顕微鏡を覗くと小さな生き物が見える作品を制作しました。

大学生活では良くも悪くも色々な人と出会い、様々な経験をしました。楽しいこと、嬉しいこと、辛いこと、嫌なこともありましたが自分にとって実りある4年間だったと思います。工芸大で学んだことをこれからの人生に生かしていきたいです。



# 卒業制作展 アニメーション学科



## 卒業のことば

アニメーションは観て楽しむだけの私が、東京工芸大学のアニメーション学科に入学してから早くも4年という月日が過ぎました。ありきたりな言葉ではありますが、あっという間の4年間でした。正直、未だに卒業をするという実感がありません。あまりにも実感がなため、春になったら中野キャンパスへと足を運んでしまいそうです。

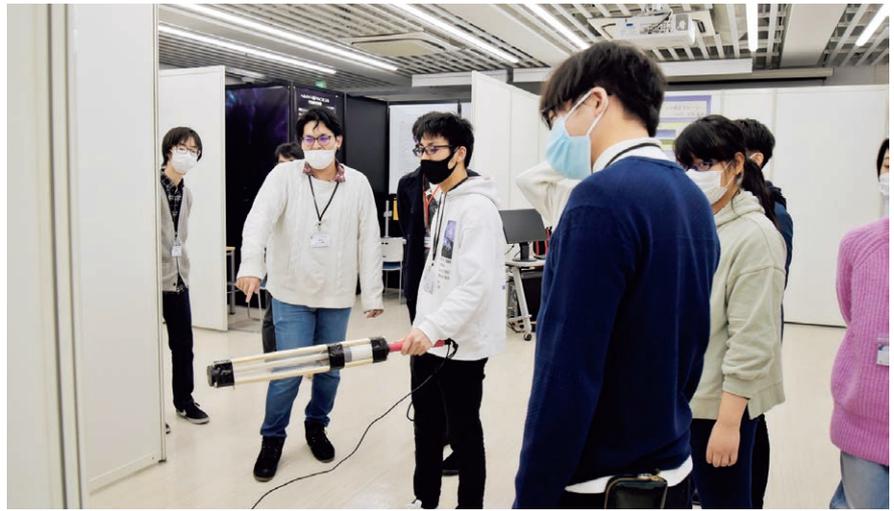
パソコンでイラストを描いたことがないどころか、ペンタブに触れたことすらない私にとって、授業は驚きと戸惑いの連続でした。それでも、様々な課題に追われながらも何とか食らいついて、自分の拙い絵を動かせた時の感動をきっと私は一生忘れることができません。何事

### アニメーション学科 山崎 真由子

もがむしゃらにやってみると存外なんとかなるものです。自分にはできないと思い込んでいたことができたことによって、一気に視野が広がったように感じました。

私はアニメーション関連とは全く異なる職種に就きましたが、大学で経験した全ての出来事は間違いなく私の中で生き続けます。その経験と共に成長し続け、社会の一員として誰かの役に立っていきたいです。大変な世の中ではありますが、皆様の歩む道が明るいものでありますように。





## 卒業のことば

この言葉を書いている時、大学を卒業するということにまだ実感が湧きません。しかし、自分の大学生活の分岐点になったであろう瞬間は今でも思い出せます。それはまだ入学する前の「ごしんぼく会」です。あの厚木でたまたま自分の机に座った上級生がその時の学園祭実行委員長でした。その時に自分に言われた勧誘文句を今でも思い出します。

「学校内歩いて、すれ違う人ほとんど知り合いとか友達だよ」

この言葉を聞き、学園祭実行委員会に入るという決断をした時が自分の大学生活の分岐点でした。実行委員会に入ったことで学科学部の垣根を超えた「人との縁」を結び、その縁は実行委員会だけではなく、在籍したゲーム

### ゲーム学科 佐野 匠

学科にも広がりました。ゲーム学科でのゲーム制作でも、所属した学園祭実行委員会の活動でも、自分一人で成し遂げたことは何もありません。常に自分の周りには力を貸してくれる同期や先輩がいて、その力があってこそ成功でした。

「人との縁」そして「縁を結んだ人たちと何かを達成すること」の大切さ、楽しさをこの大学4年間で学びました。今までの人生の中で最も濃くて充実感にあふれた4年間でした。それを一緒に作ってくれた友人や先生方、本当にありがとうございました。



## 卒業制作展

# マンガ学科



## 卒業のことは

振り返るととても充実した4年間でした。この大学に入学する前までは「漫画家になりたい」という夢はあっても具体的に何をすれば良いのか分からずにひたすら部活動として漫画を描いていましたが、実際にプロの先生や業界の方の話を聞けたり授業を受けたりして、1年目から「今までの力がどこまで通用するのか」を知ることが出来ました。

ありがたいことに賞を何度かいただいたり、それを機に短期間ではありましたが漫画家先生のアシスタントを経験したりしました。現在は大学生協の部内報にてカラー漫画を連載させていただいております。このように4年間を通して、夢のままだったことがだんだん形として

マンガ学科 深沢 糸恩

見えてきました。

幼い頃から何故か当然のようにこの道を志していましたが、専門的なことを学ぶ機会はなかなか得られず、将来のことを思うといつも不安な気持ちでいっぱいでした。東京工芸大学を選んでようやく自分が何をしていけば良いのか分かってきて、又大学に入る前までに手探りで積み重ねてきた力も無駄ではなかったと実感出来て本当に良かったです。これからも友人や先生方、両親など周りへの感謝の気持ちを忘れずに、一層精進して参ります。



# 2021フォックス・タルボット賞

フォックス・タルボット賞は、写真表現に情熱を傾ける若い写真家の登竜門としての役割の他、国際的視野をもった写真家を育成することを目的に、1979年東京工芸大学短期大学部に設けられ、今回で第42回を迎えることになりました。本賞は、ネガポジプロセスの発明者ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット氏(英・William Henry Fox Talbot 1800-1877)の偉業をたたえ、イギリスのフォックス・タルボット美術館のご協力をいただき、氏の名前を冠した賞となっています。今回はコロナ禍で開催も危ぶまれましたが、応募者44名、作品数は58点で昨年以上の応募がありました。また、受賞者全員が写真学科4年生という結果でした。

第一席には、写真学科4年生、森遍さんの「人里の翅音」が選ばれました。コロナ禍で遠出が難しい中、身の回りの昆虫をとらえたものです。近年では稀に見るネイチャー写真の秀作として審査員の高評価を得ました。なお、感染症予防のため表彰式、パーティは行われませ



フォックス・タルボット賞 審査風景  
左から、中谷審査員、細江審査員、田沼審査委員長、立木審査員、小林審査員

んでしたが、受賞作品展は3月3日から13日まで写大ギャラリーで行われました。

年齢制限はありますが、応募が可能な卒業生の皆様方、ぜひ次回「2022フォックス・タルボット賞」への参加をご検討ください。お待ちしております。

フォックス・タルボット賞運営委員長  
教授 田中 仁

2021フォックス・タルボット賞は、2021年2月3日に審査が行われ、下記の方々が受賞しました。

## 2021フォックス・タルボット賞 受賞者

第一席	人里の翅音	森 遍	芸術学部写真学科4年
第二席	Noiseless Tokyo	所 直輝	芸術学部写真学科4年
第三席	ひとり、ふたり、みたり	齋藤 諭美	芸術学部写真学科4年
佳作	足を認める	佐藤 里菜	芸術学部写真学科4年
佳作	UNNATURAL	與川 拓海	芸術学部写真学科4年
佳作	石倉画伯の絵画旅行	石倉 侑	芸術学部写真学科4年
佳作	残煙	蓮見 航平	芸術学部写真学科4年
佳作	2つの生活	山本 美香	芸術学部写真学科4年
モノクロ賞	滲み出る感覚と気配	葉若 まりな	芸術学部写真学科4年

審査委員の先生方 田沼武能(委員長) 細江英公 中谷吉隆 立木義浩 小林紀晴 (敬称略)

※学年は受賞当時のものです。

# 「2022年度芸術学部同窓生子女特別推薦型選抜」について

本入試は、本学の建学の精神に深い理解を示す同窓生子女を受け入れることにより、本学独自の学風を継承し、発展させるための一助として実施する試験です。

## (1)推薦者(推薦資格)

本学同窓生(工学部、芸術学部、女子短期大学、芸術別科写真技術専修、写真短期大学、写真専門学校を含む)

## (2)志願者(被推薦者)出願資格

次の①～⑤全ての条件に該当すること

- ①2021年4月1日から2022年3月31日までに、日本の高等学校または中等教育学校を卒業(見込み)する人
- ②本学同窓生(工学部、芸術学部、女子短期大学、芸術別科写真技術専修、写真短期大学、写真専門学校を含む)の子女(孫を含む)である人
- ③本学同窓生(工学部、芸術学部、女子短期大学、芸術別科写真技術専修、写真短期大学、写真専門学校を含む)の推薦を得た人
- ④高等学校第3学年1学期(2学期制の高等学校の場合は前期)までの評定平均値が3.5以上の人
- ⑤本学の教育内容を十分に理解し、出願学科を第一志望とする人(合格した場合、必ず入学する人)  
<留学生の場合>

上記の出願資格に該当し、日本語能力試験(JLPT)N2以上に合格している人、または過去2年以内の日本留学試験(EJU)の日本語(読解、聴解・聴読解)の得点が220点以上の人

## (3)同窓生子女特別推薦型選抜試験日

2021年11月13日(土)

## (3)同窓生子女特別推薦型選抜推薦書提出期間

2021年11月1日(月)～11月5日(金)[締切日消印有効]

※所定の提出書類の他に、同窓生本人による推薦書(本学所定の用紙による)をご提出いただきます。

## (4)対象学部・学科

芸術学部 各学科

## (5)推薦に必要な書類(出願書類)

- ①志願票(インターネット出願サイトから出力)
- ②顔写真データ(インターネット出願サイトにアップロード)
- ③大学入学資格に関する証明書  
a.調査書
- ④同窓生子女特別推薦型選抜推薦書(インターネットからダウンロードまたは出願様式集芸術学部(芸)様式2)
- ⑤面接資料(インターネットからダウンロードまたは出願様式集芸術学部(芸)様式4)

<留学生の場合>

他に追加書類があります。詳細は学生募集要項をご確認ください。

## (6)問い合わせ先

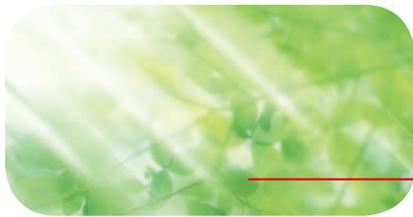
東京工芸大学 芸術学部入試課

〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5

TEL 03-5371-2676

FAX 03-5371-2874



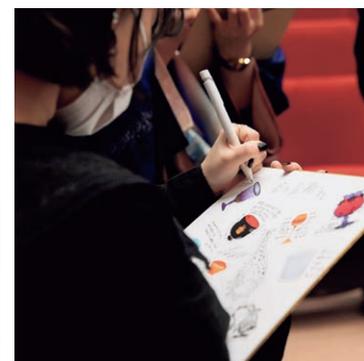


2021年3月24日、中野サンプラザ・ホールにて2020年度芸術学部・芸術学研究科の学位授与式が執り行われました。コロナ禍での式典は、7学科+大学院を午前と午後に分割し、短縮プログラムで登

壇者も縮小するなど、感染対策を講じての実施となりました。恒例の後援会・同窓会主催の「卒業祝賀会」は昨年に引き続き中止となりましたが、満開の桜の中、会場はたくさんの笑顔で溢っていました。



# 2020年度 学位授与式



# ひろばのページ

## 令和2年度 後期理事会書面表決

新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、「令和2年度同窓会後期理事会(中間決算)」を書面表決とさせていただきます。

12月1日付で「同窓会令和2年度 後期理事会議案書」を送付し、書面表決にてご審議頂きました。結果は以下の通りです。

執行役員12名・理事27名 計39名内、全ての議案に関して賛成28名(未返信11名)でご承認頂きました。

議案

第1号議案 令和2年度 前期事業報告

第2号議案 令和2年度 中間決算報告

第3号議案 令和2年度 後期事業計画

第4号議案 令和3年度 役員候補者一覧

## 卒業生の活躍が新聞記事で紹介

「夢中さ、きみに。」で新人賞 和山やまさんに聞く

マンガ学科卒業生の女性マンガ家・和山やまさん(92期)の活躍について、読売新聞(2021年2月8日付夕刊)に記事が掲載されました。淡々とした日常の中にあるクスリとした笑いと、男性同士の間流れる友情を超えた不思議な感情を描く作品が人気を呼んでいます。

## 2021年度入学式

2021年4月5日、神奈川県民ホールにて、2021年度の入学式が挙行されました。芸術学部には691名の新しい仲間が加わり、会場には新入生の希望に満ちた表情が溢れていました。



## 池田陽子名誉教授の遺作展が開催されます

昨年8月に逝去された池田陽子名誉教授の遺作展が、7月に東京・四ツ谷のポートレートギャラリーで開催されます。人形浄瑠璃 文楽の撮影を始めて50余年の作品からの展示になります。45年にわたる写真教育と文楽を撮り続けた池田先生の偉業を讃える写真展です。

東京工芸大学名誉教授

池田陽子遺作展「魅せられて」

人形浄瑠璃 文楽

会期/2021年7月1日(木)~7月7日(水)

時間/平日:午前10時~午後6時

(最終日は午後3時終了)

土・日・祝:午前11時~午後6時

会場/ポートレートギャラリー

東京都新宿区四谷1-7-12

日本写真会館5F

会期中無休/入場無料

東京工芸大学名誉教授  
池田陽子 遺作展  
「魅せられて」  
人形浄瑠璃 文楽

2021年7月1日~7月7日  
平日:午前10時~午後6時  
(最終日は午後3時終了)  
土・日・祝日:午前11時~午後6時  
会期中無休/入場無料  
協力 人形浄瑠璃文楽座  
後援 東京工芸大学 KOGEI

Portrait Gallery  
ポートレートギャラリー

# 展示会・出版の記録

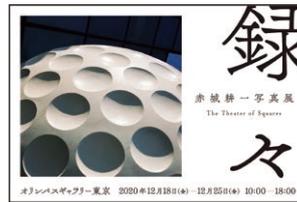
展：展示会名 作：作者 所：場所 期：会期  
※学年、職位等は開催当時のものです



展：写真展「COLORS—色は語る—」  
写大ギャラリー・カラー作品コレクションより  
作：  
所：写大ギャラリー  
期：2020.11.9-2021.1.27



展：南條敏之 個展 shelterbelt  
～亭々と／点綴と  
作：南條敏之(写真技術科69期)  
所：HRD FINE ART  
期：2020.12.10-2021.1.30



展：赤城耕一写真展「録々」  
作：赤城耕一  
所：オリンパスギャラリー東京  
期：2020.12.18-12.25



展：あざみ野フォト・アニュアル  
とどまってるもの  
作：川島崇志(写真学科84期・大学院86期)・吉田志徳(写真学科90期)  
所：横浜市民ギャラリーあざみ野  
期：2021.1.23-2.14



展：相模里神楽写真展「あつぎの神さま」  
作：増田美咲・越智芽生(写真学科4年生)  
所：小田急線本厚木駅東口地下道  
期：2021.2.7-8.31



展：写真学校10校合同選抜展  
作：蓮見航平(写真学科96期)・御手洗茉央(写真学科96期)  
所：キャンボンオープンギャラリー2  
期：2021.2.26-3.18



展：嶋田篤人写真展  
作：嶋田篤人(写真学科86期)  
所：リコーイメージングスクエア 東京 ギャラリーA  
期：2021.3.18-4.5



展：横山勇也写真展「GIFTギフト」  
作：横山勇也(写真学科81期)  
所：NSGソーシャルサポート  
期：2021.3.20-3.21



展：SHITEN  
作：村田一樹(写真学科95期)  
所：渋谷PARCO commune 10F  
期：2021.3.20-3.23



展：東京工芸大学「写真学科スペシャル」アワード2021作品展  
作：佐藤里菜・水沼大・森遍・御手洗茉央・田代夕稀乃・宮本十同・葉若まりな・JI CHANGYUAN(写真学科96期)・小林菜奈子・丸山汐音・鈴木星南(写真学科3年生)・星子桃花(写真学科2年生)  
所：ソニーイメージングギャラリー銀座  
期：2021.3.22-4.1



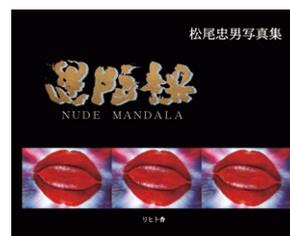
展：森山大道写真展「衝撃的 たわむれ」  
写大ギャラリー森山大道アーカイヴより  
作：森山大道(東京工芸大学客員教授)  
所：写大ギャラリー  
期：2021.3.22-5.31



展：もうひとつの風景  
作：広川泰士・小林紀晴(写真技術科63期)  
所：小海町高原美術館  
期：2021.4.10-6.6



展：原向日葵写真展「ROUTE 1」  
作：原向日葵(写真学科95期)  
所：リコーイメージングスクエア 東京 galleryR / リコーイメージングスクエア大阪  
期：2021.4.15-4.26 / 2021.5.20-5.31



松尾忠男写真集「曼荼羅」  
松尾忠男(写真学科51期)  
リヒト舎  
2020.12.2



南條敏之作品集「shelterbelt」  
南條敏之(写真技術科69期)  
HRD FINE ART  
2020.12.10

## 訃報

衷心よりお悔み申し上げます。

高原 至 (20期・写真理学科)	栗田 光章 (39期・写真印刷科)
井本 俊康 (28期・写真技術科)	湯浅 佐太郎 (40期・写真技術科)
末田 喬二 (29期・写真技術科)	樋口 良子 (42期・写真技術科)
小林 大二 (30期・写真技術科)	三田 修一 (43期・写真技術科)
山岡 文男 (31期・写真工業科)	村田 和夫 (43期・写真技術科)
金子 正 (36期・写真技術科)	新藤 伸一 (44期・写真技術科)
神宮 武彦 (36期・写真技術科)	細野 秀穂 (50期・写真技術科)
若林 茂 (37期・写真技術科)	加藤 康弘 (52期・写真技術科)
和田 父志夫 (38期・写真技術科)	中川 白峰 (64期・写真技術科)
迫田 公秀 (38期・写真工業科)	

(敬称略)

訃報は御親族の承諾を頂いた方のみ掲載させて頂いております。

## 掲載記事の募集

「ひろば」に掲載する記事を募集します。コロナ禍で同期会やクラス会の開催は難しいと思いますが、エピソードや情報など、楽しい記事をお待ちしております。テキスト原稿・写真などを、メールもしくは郵送で同窓会事務局までお送り下さい。紙面編集の都合上、原稿は広報委員会で調整させて頂く場合がございます。予めご了承下さい。よろしくお願い申し上げます。

## 編集後記

4月、新しい年度になりました。大学では学生がキャンパスに通学する面接授業(対面型)が始まりました。生き生きと嬉しそうな学生の姿が印象的です。久しぶりに学生が教室や実習施設に集まる光景に新鮮さを感じつつ、感染拡大が収まったわけではないので、日々緊張感を持って過ごしています。そんな中、3回目の緊急事態宣言…大学の授業は一時的に遠隔授業に逆戻りとなりました。編集作業を行なっている現在、外来者の方の入構制限は続いており、同窓生の皆様に直接お会いすることは当分叶いそうもないですが、「ひろば」を通じていまの大学を感じ取って頂けると幸いです。

広報委員長 上田 耕一郎(75期)